

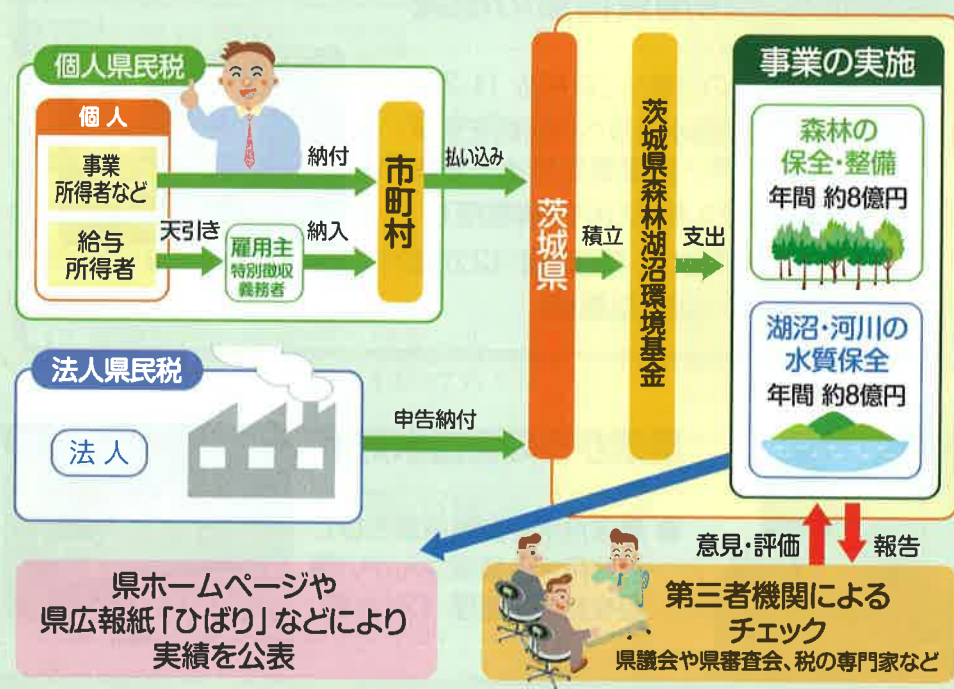
森林湖沼環境税の仕組み

納める人 県内に住所や事業所などがある個人(※)、法人
※ただし、所得が一定金額以下の方などは非課税となります。

納める額 [個人] 1,000円/年
 [法人] 県民税均等割額の10%/年

納める期間 平成20年度から平成29年度まで

納税から事業実施までの流れ



お問い合わせ先

- 税の仕組みに関すること..... 県税務課 ☎029(301)2418
- 税の使いみちに関すること(森林)..... 県林政課 ☎029(301)4021
- 税の使いみちに関すること(湖沼・河川)..... 県環境対策課 ☎029(301)2968

湖沼・河川の水質保全

平成25年度事業による年間負荷削減量

COD* 約49トン
全窒素 約36トン
全リン 約4.1トン

平均的な家庭が年間に排出する
 負荷量(COD) 約7,100世帯分に相当

森林の保全・整備

平成25年度事業により
 増加した年間炭素吸収量

2,316炭素トン

(間伐: 2,200炭素トン、平地林: 116炭素トン)

平均的な家庭が年間に排出する
 炭素量の約1,610世帯分に相当

※COD(化学的酸素要求量)とは、水質汚濁の原因となる水中の有機物に関する指標の一つです

特集

森林湖沼環境税

森と湖は私たちの大事な宝物



森林湖沼環境税とは

県では、県民共有の財産である森林や湖沼・河川を良好な状態で次世代に引き継ぐため、平成20年度から、県民の皆さんに納めていただいた森林湖沼環境税を活用して、森林の保全・整備および湖沼・河川の水質保全に取り組んでいます。

現在、森林では間伐や平地林・里山林の整備が推進され、また、霞ヶ浦の水質は近年改善傾向にあります。しかし、いまだに荒廃した森林が多く残っているほか、湖沼・河川の水質のさらなる改善が必要であるなど、多くの課題が残されています。

そのため、森林湖沼環境税を活用し、さらに取り組みを推進してまいりますので、県民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。



森林湖沼環境税PRキャラバン

税活用事業の内容や実績などをお知らせするため、今年も県内5カ所で開催します。詳しくは県ホームページなどでご案内します。

森林湖沼環境税を活用して、

森林の 保全・整備

森林の水源かん養機能

森林の土の中は、大小の隙間がたくさんあり、スポンジのようなつくりになっています。雨水は、その隙間を通過して、地中深く染み込み、ゆっくりと流れ下り、やがて湧き水などとして地表に湧き出てきます。

地中に水を蓄えて洪水を防ぎ、雨の少ない時期にも安定的に水を供給する森林は、私たちの生活を支え、生き物の命をつないでいます。

平成25年度は次のような

森林環境保全のための 適正な森林整備の推進

- 荒廃した森林の間伐（1,222ヘクタール）
- 間伐作業道の開設（66,969メートル）
- 身近な平地林や里山林の整備（165ヘクタール）
- 高性能林業機械のレンタル支援（128カ月分）
- 海岸防災林の機能強化
（広葉樹などの植栽12ヘクタール
松くい虫被害木伐採1,147立方メートル）



高性能林業機械による作業



通学路沿いの整備された平地林

いばらき木づかい運動の推進

- 県産材を使用した
木造住宅建築への補助（300戸）
- 公共施設などの木造化・木質化（7施設）
- 学校などへの椅子や
机などの木製品の導入（41施設）
- 森林内に放置されている未利用間伐材などの有効利用



県産材を使った住宅の建築



子育て支援センターに導入した木製品

県民協働による森林づくりの推進

- 地域の森づくり活動などへの支援（20団体）
- 森林・林業体験学習（参加人数 5,436人）
- 筑波山のブナ林保護活動（ロープ柵などの設置）



間伐体験



森林づくり活動

森と湖の保全に取り組んでいます

湖沼・河川の恵み

県内の湖沼・河川は、毎日の生活に重要な役割を果たしています。特に、日本第2位の大きさの霞ヶ浦の水は、沿岸の農地を潤すだけでなく、多くの人々の水道水源や鹿島臨海工業地帯などへの工業用水として利用されています。

また、霞ヶ浦用水として県西部へ農業用水、工業用水、生活用水を送り出しています。

湖沼・河川の 水質保全

取り組みを実施しました

生活排水など汚濁負荷量の削減

- 高度処理型浄化槽の設置などに補助（1,259基）
- 下水道や農業集落排水施設への接続を支援
（下水道：356件、農業集落排水：239件）
- 工場・事業場の立入検査（611事業所）
- 家畜排せつ物を燃料として利活用（2カ所）
- 堆肥の流通促進を支援（2集団）



高度処理型浄化槽の設置

農地からの流出水対策

- 農業排水を農業用水として
再利用する循環かんがい施設を整備・管理（24カ所）



循環かんがいの仕組み

県民参加の水質保全活動を推進

- 市民団体の環境保全活動を支援（15団体）
- 小・中学生などを対象に湖上での
環境学習を実施（299回、9,097人）
- ヨシ帯の保全活動を支援（10活動組織）



霞ヶ浦湖上体験スクール

水辺環境の保全

- 湖水や河川などを直接浄化する実証試験の実施
- アオコ抑制装置を設置し悪臭被害などを防止
- 未利用魚の回収（約288トン）
- 霞ヶ浦の水質改善に向けた試験研究



未利用魚の回収



アオコ抑制装置の設置